

政権奪回へ、自民党新体制船出

自由民主党の総裁が決まりました。安倍晋三前首相の再登板となりましたが、健康状態も万全、政権奪回へ向けて、新生安倍総裁に大いに期待しております。今回の総裁選で私自身は、参議院から立候補した林芳正議員を応援しました。目的の達成はなりませんでしたが、林議員はまだ51歳、今回はまずは国民への最初のアピールです。

一方の民主党は、野田代表が再選され、引き続き野田政権が続くこととなりました。十月一日に内閣改造がありました。最近「うち解散内閣」ですから、大分、迫力に欠けるとマスコミの目は厳しいようです。我が国は、今まさに内憂外患。この一年、わが党や公明党の協力があって、かろうじて維持してきた野田政権、改造内閣がこの厳しい政局を乗り切ることができるのか、はなはだ心もとないと国民の皆様は感じておられるでしょう。

口中、日韓問題や社会保障改革など山積する難題を考えると、一日も早く、政権を奪回し、安定政権を確立しなければなりません。なお、今回の改造では薬剤師である三井辨雄氏が厚生労働大臣に就任、厚生労働大臣としては、薬業界から初めての誕生となりました。厚生労働省は、社会保障改革という大きな課題を抱えていますが、社会保障改革については、民自公の三党合意により、社会保障と税制改革の柱となる消費税関連法が成立し、その消費税引き上げの前提として、「社会保障改革国民会議」を設けて、今後一年をかけて審議されることとなっています。薬業出身の新大臣の活躍を期待しましょう。

ところで、我が国は、世界でもトップクラスの高齢社会であり、社会保障改革は待たなれませんが、実は、世界的にみても高齢化が進んでいるそうです。国連人口基金などの報告によると、2050年、世界の人口の5人に1人は60歳以上、つまり20%を高齢者が占めると推計されるそうです。現在の世界の平均寿命は、先進国で78歳、開発途上国では68歳ですが、2045年と2050年には先進国は83歳、開発途上国は74歳にまで伸びると予測されています。開発途上国における長寿化は、それらの国の社会的安定、経済発展の歩みはゆっくりにあっても、着実に進みつつあることの証左と言えましょう。日本も開発途上国の発展に貢献してきましたが、私も国会でODA特別委員会を担当する者として、感慨深いものがあります。

しかし、高齢化は一方で、難題も生じます。現在、世界の認知症患者は3560万人とされていますが、2030年には6570万人に倍増すると推計されています。「高齢社会の先遣国」として、経済だけでなく、医療や介護、福祉分野においても日本の国際的な役割は、一層重要性を増すことになるでしょう。

参議院議員

藤井基之

生月島

もとゆき会顧問 瀬田公和

この夏博多に住む友人から「生月島に行きませんか」という誘いをうけた。生月島は、平戸の西北に位置し、平戸と生月大橋で繋がっている小さな島である。

友人の話では、彼の先祖は、この生月島の領主の一人であったらしい。生月島は、現在では「かくれキリシタン」で知られる島であるが、戦国時代の末期には当時の平戸藩に属し、「籠手田氏」と「一部氏」が領主として島を二分し、捕鯨を中心として非常に栄えていた。今でも数千人の人が住む海と空と緑の美しい島であり、クルーズの大きな船が、寄港できる港もあり、生月町の博物館「島の館」の展示からも、経済的に栄えた島だったことが分かる。

生月島の産業は、何といても捕鯨だった。今日では見る影もないが、江戸初期の鯨組の頭領は、平戸藩から「益富」という姓を名乗ることを許され、吉岐をはじめ西海を中心に我国最大の規模を誇る捕鯨組織であり、最盛期には三千人以上の人が生月島の鯨組に属していたといわれる。

生月島は、また「かくれキリシタン」の島である。平戸藩は、はじめは貿易に対する期待もあって、積極的にキリスト教の布教を許したため、生月島ではまず領主が入信し、短期間でほとんどの住民が信者になったといわれている。その後、平戸藩も禁教に転ずることになったが、その際領主も転向させられ、生月島から平戸に退去させられた。

しかし、生月島は捕鯨の島であり、捕鯨は住民全員の共同作業によって成り立っていたので、信者たちは他の宗派の人々と集団を組むことをぎらうとして、全体として密かに信仰を続けていたといわれる。平戸藩も、鯨組が藩の最大の収入源である限り、表面的な取り締まりはともかくとして、島民が密かに信仰を続けることを黙認したようである。

その結果、生月島の「かくれキリシタン」は、明治に入りキリスト教の再布教がはじまって、必ずしもカトリック信者にすぐ戻ることはなく、戦国末期から江戸初期の潜伏時代のカトリック信者の祈りの言葉である「オラショ」を集団として唱え続けるなど、長期間にわたって当時の信仰形態を守り続け、他の地域の信者と異なる特徴を残しているようである。

このように生月島のような小さな島でも、過去の我が国の歴史の跡が鮮やかに残っている。現在、尖閣諸島や竹島の領有権が大きな問題となっているが、これらの島々が、過去に我が国の人々の生活とどう係っていたのか、領土紛争という現実を理解するためにも、その歴史を辿る必要があると考えている。



平成 24 年 8 月 3 日 (金)
10 時より本会議



平成 24 年 8 月 10 日 (金)
14 時より本会議

冒頭、みんなの党等から議長不信任案が提出されたため休憩へ。
15 時 30 分本会議再開。

平成 24 年 8 月 27 日 (月)
「いわゆる院内製剤に関する質問主意書」提出

平成 24 年 8 月 29 日 (水)
10 時より本会議の予定であったが、野田首相への問責決議案の野党間での一本化調整に時間がかかり 16 時 40 分より本会議が開催され、李明博韓国大統領の竹島上陸と天皇陛下に関する発言に抗議する決議案、香港の民間活動家らによる尖閣諸島不法上陸を厳しく糾弾し、厳重に抗議する決議案を採択しました。その後、各委員会より提出の 17 法案について審議が行われ、すべて可決いたしました。

平成 24 年 9 月 7 日 (金)
会期末処理

→ 欧州復興開発銀行を設立する協定の改正の受諾についての承認、偽造品の取引の防止に関する協定の締結についての承認、2006年の海上の労働に関する条約の締結についての承認、1994年の関税及び貿易に関する一般協定の譲許表第38表（日本国の譲許表）の修正及び訂正に関する確認書の締結についての承認について審議が行われいずれも採決されました。また、労働契約法の一部を改正する法律案および使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律案について採決が行われ可決いたしました。

→ 審議が1時間以上遅れることとなるため、帰省予定の変更に走る議員が多数出ました。本会議は15時30分に再開され、議長不信任案の審議・採決。自民は議長(民主)に瑕疵があるとは思えないことから、不信任案には反対投票です。16時15分頃、議長不信任案は否決されました。その後社会保障・税一体改革関連8法案の審議・採決。記名投票とされた消費税法案は賛成188、反対49、欠席4。民主党造反議員は6名を数えました。民主党代表である野田総理が政治生命を懸けるという法案に反対しても処分なし、と伝えられていますが、民主党の党内規律は???法案修正で合意した自民・公明両党に対しても失礼では?・・・近いうちとされた信を問う時はいつ?

→ 参議院に提出された2つの首相問責決議案(7日提出7会派案、28日提出自公案)の取り扱いについて議事運営委員会の協議が難航。結局自公案の上程が否決され、再提出された7会派案が上程されることに。禁足指示の出されていた10時開催予定の本会議は遅れに遅れ、17時開催となりました。肝心の問責決議案は19時過ぎ記名投票に付され、賛成129、反対91で可決されました。首相問責決議の可決は、福田首相(2008年6月)、麻生首相(2009年7月)に続く史上3人目となります。これで国会は事実上の休会となり、自民・民主両党は9月に予定されている代表選を迎えます。

→ 1月24日にスタートしたロングラン国会も今日が実質的な最終日となります。午前中に会期末案件処理等のため全委員会が開かれ、その後、参議院本会議は11時30分、衆議院本会議は13時に開催されました。参本会議では参院4増4減の「公職選挙法改正案」が審議・採決に付され、賛成多数で可決。衆院に送られ、衆院で継続案件となります。やっと国会は一休みとなりますが、自民党代表選が走り出すこととなります。9月14日告示、投開票日は26日です。

会員投稿

イタリアでのプチ体験記

もとゆき会幹事 藤田 百合子

- その1. イタリアのボローニャでぼったくりタクシー編
ビジネスで海外に行ける！ちょっと役得な気分でした。
あっ！ボローニャでぼったくりタクシー運転手と遭遇！
わざと道を間違え、「えー？何で行けないの？確が行けるはずなのに・・・」「うーん、わからない。道はどこ？」って、「私は、バカだ！御免なさい」と言いながら、何度も同じ道にくるくる走る。最初、気がつかなかった私達も、さすがに何度も芸もなく、同じ道を走られると気がつく。30€の距離なのに 47€のメーター表示！さんざん、喧嘩をして、40€にしてもらった。いつまでも、何も言わない日本人、大人しい日本人ではない。しっかりと怒るところは怒って、ぼったくりタクシーに負けないようにしましょうね。
- その2. イタリアの男性、とにかく、良く気がつく、そして、優しい。
特に、Lady に対する心遣い、気配りは最高！スーパーに行けば、荷物を持ってくれる、レジでの支払いも、叔父様がしてくれる。実にクール！ちょっとラッキー！車に乗る時はちゃんとドアを開いてくれる。もちろん、降りる時もドアを開け、手を差し伸べ、サポートしてくれる。実に、自然にふるまってくれる。この素敵な気配りに、私は、ちょっと女王様気分！ボローニャを離れる日、電車の駅まで御見送りに来てくれた。一緒にいた日本人男性が、女性のハンドバックを大きな荷物と一緒に置いていたところ、私の荷物と間違えたようだ。電車乗り場まで運び、それが、男性の荷物とわかると、「I don't know!」「何で男が女性物のバックを持っているのだ・・・」と叫んでいた。一方、自分の荷物が消えたと青ざめた日本人男性とのやり取りが最高に愉快だった。
- その3. 日本の魚は安全ですか？
津波&福島県の原子炉について「貴女は、魚を食べますか？」とフランス人女性が私に尋ねた。私は、「もちろん、大好きですし、ほぼ、毎日食べていますよ」と応えると非常に驚いていた。放射能を含む魚・・・というイメージらしい。福島原発の事故後、どのくらい魚を食べなかったという質問も受けた。「1ヶ月くらいは気になったけど、後は、普通に食べていますよ」と応えると、彼女は、「日本の魚は、放射能汚染が恐ろしくて食べられない」と顔をしかめていた。
日本の海のイメージは、放射能汚染という厳しい見方をされていることに気がついた。これを風評被害というのだろうか。
また、全ての日本製品の海外輸出の厳しさを知った。
東北の一日も早い復興を東北の物品を購入することで応援させていただいております。東北の方々が、心身共に健康を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

ご案内

藤井もとゆき君 と語る会 開催のご案内

日時:平成24年11月14日(水)
午後6時30～

場所:東京會館
12F ロイヤルルーム
〒100-0005
東京都千代田区
丸の内3-2-1
TEL 03-3215-2111

会費:20,000 円

もとゆき会入会の案内

もとゆき会とは、藤井基之先生の政治家としての大成を期するため活動している政治資金規正法に基づく政治団体です。藤井基之先生の政治理念や人柄などに共鳴した人々の「藤井もとゆきファンクラブ」のようなものです。「藤井もとゆき勝手連」とも通称しています。会員になりたい方、関心のある方は、下記の藤井基之事務所にお問い合わせください。

入会金や会費はありませんが、個々の事業や活動の実施に必要な場合は、その都度、費用を会員や参加者から徴収させていただきます。

もとゆき会の活動をご理解いただくために、ホームページを開設いたしておりますので、右記アドレスにアクセスしてみてください。

藤井基之国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 1218 号室
☎ 03-6550-1218
Fax 03-3597-9393

藤井基之浜町事務所

〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町 2-35-7
島鶴ビル 601号
☎ 03-3660-4302
Fax 03-3660-4328



もとゆき会 HP :
<http://www.fujii.tv/>